

会報 SHINSHIYOU

# 神私幼

平成19年6月1日

第160号

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会  
 発行人：会長 渡邊 眞一  
 編集人：神私幼総務部(広報室)

〒221-0011 神奈川県横浜市神奈川区神之木台22-14  
 県青少年課神之木台分館内  
 TEL.045(430)3102 FAX.045(430)3103

## 今年度は正念場

会長 渡邊 眞一



十九年度は県連合会組織にと  
 って大きな選択を覚悟する年度  
 になりそうです。

一つは公益法人制度改革に伴  
 なる「公益社団」に筋道をつけ  
 るかどうかを検討することです。  
 昭和二十三年に本連合会が設立  
 され、昭和四十四年に「社団法  
 人」となった本連合会です。し  
 かし今回の制度改革に伴ない少  
 なくとも平成二十年十二月まで  
 に連合会組織は「公益社団」に  
 なるか、「一般社団」となるか、  
 それとも「任意団体」を目指す  
 のか……決めなければなりません。  
 公益法人制度改革の要点に  
 ついては神私幼会報(百五十八  
 号)でお知らせした通りです。  
 現在、本連合会は五地区十二協  
 会で成り立っております。その  
 うち横浜協会・川崎協会・相模

原協会の三協会が「社団法人」  
 です。そこで県連としては「公  
 益法人制度改革対策検討委員会」  
 を中心に国や県当局の情報を取  
 集しながら、永続性のある組織  
 として公共性の確立をどうやっ  
 て発揮するかなど、今後の方向  
 性を検討してまいりたく考えま  
 す。三協会との連携、そして九  
 協会のご意見もいただきながら、  
 連合会が今以上に強固な絆で結  
 ばれた団体として存続できるた  
 めの方策を求めたいと念じます。

■幼稚園会館の具体化に向けて  
 さて、もう一つの課題はかね  
 てからの懸案事項であります「幼  
 稚園会館」です。先生方には既  
 にご承知の通りですが、現在県  
 連では多様な事業実施に必要な  
 用地を確保し、八年半が過ぎま  
 した。また会館を確保するに必

要な積立金もほどほどに貯まっ  
 てきました。いつまでも県の施  
 設に間借りする訳にもいきませ  
 ん。事務局機能と会務の運営向  
 上のためには、どうしても自前  
 の会館が求められます。今般、  
 公益法人制度改革と並行し、こ  
 の会館問題も解決しなければな  
 りません。いろいろな声や案が  
 あるかと思いますが、今回は一  
 つの目的に向かい先生方の心を  
 一つに帯同団結をお願いしたい  
 ところであります。

### ■一致団結で道を開こう

ところで十九年度は今任期後  
 半の一年となります。三月總會  
 にてご承認をいただいた事業計  
 画に則った会務の運営をはかり  
 たく、先生方のご理解とご協力  
 をお願いします。さる三月二十  
 日に神奈川県認定子ども園認定  
 検討委員会があり、認定子ども  
 園四箇所(箱根一園、横浜三園)

を認定しました。今後の動きを  
 注視したいと考えます。また昨  
 今、幼稚園教諭の採用が一段と  
 厳しくなってきました。人材  
 確保は喫急の課題です。県連で  
 も対策を検討しますが、各園で  
 も腰をすえた対応をお願いした

いところでは、公費助成  
 の引き上げについても更なる努  
 力をせねばなりません。県内他  
 校種に比べても極めて低い水準  
 に止まっているようでは、私幼  
 の永続性の確保と経営の健全化、  
 並びに教育環境の整備、多様化  
 する現代的課題に向う力が発揮  
 できません。今年度もそろそろ  
 県担当課や議連の先生方と一緒  
 になった活動を開始したいと思  
 っておりますが、行動力あつて  
 の対応です。先生方、おひとり  
 おひとりの応援をよろしくお願  
 いします。

### ■協力が組織を動かす

その他十九年度は、幼稚園教  
 育要領の改訂、教員の資質向上  
 につながる研修会、県の次世代  
 法の動き、地方分権の流れに伴  
 なる市町村行政の幼稚園担当課  
 との連携、更には各協会、父母  
 の会連合会、教育振興連盟が一  
 体となつての振興活動と施策い  
 つぱいの一年です。とにかく諸  
 課題の多い十九年度の県連事業  
 です。重ねて先生方のお力を賜  
 わりたく、よろしくお願ひ申し  
 上げ、会長のコメントとします。

# 神奈川県私立幼稚園教育振興連盟の発足について

副会長 吉原久雄

**1** 今まで活動してきた政治連盟は改称して新組織として再出発します。本来の目的は幼稚園教育の振興にあります。政治連盟は旧名称ですが、

政策に影響力を持つ勢力への働きかけはそのひとつの手段です。大きな枠組みのなかで幼稚園教育の振興を図っていかなければならないと思います。

**2** 幼稚園教育は私学で成り立っているわけで、それぞれの園は創設者のかけがえない思いがあつてその歴史を刻んでいます。昨今は幼児教育の大切さが叫ばれる割に子育て支援に傾きがちな論調があります。幼児期の体験が人の将来を左右する、という重要性がと

**3** 明治四年には横浜に幼児教育施設が既に作られたと言われ、特に神奈川は私

**4** もうひとつの改称の理由は、公益法人制度改革です。従来の連合会の組織は様々な制約をうける流れにあります。設置者の思いを受け止めていく組織としては、今後、振興連盟が唯一のものになるのではないのでしょうか。広く仲間を

**5** 政策への働きかけとして、今後は私学予算のなかの幼稚園予算、ではなくて私学予算全体の増額を図っていく、または枠組みの変更も視野に入

学発祥の地です。経常費助成単価が全国最下位

とはどういうことか。逆に言えばひとえに私立幼稚園の懸命な努力、がんばりがあつてこそ、神奈川の幼児教育が支えられているということではないでしょうか。

**6** 神奈川県私立幼稚園教育振興連盟は、神奈川県

の各地区の実情に依ることから、その地区の代表を運営委員として組織の要とします。そして組織の事業を執行する代表として執行委員を置きます。また一方では連合会との連携を図っていくことも大切なことと考えています。

**7** 五月八日に発足の集いを行いました。今後、広く外に披露する機会を持つとともに、会員の皆さまには研修会等を計画しています。追って引き続き活動のお知らせをいたします。



## 教育振興連盟名簿

### 委員

会長	吉原久雄
副会長	伊藤夏夫、沢野文生、古郡孔文、森本恵美
会計責任者	角和一太郎
会計	武藤保之
監事	亀井京子、内藤義幸
執行委員	総務担当・丸山 征 企画担当・山口繁美 広報担当・井上一彦 組織活動担当・長瀬 潔

### 理事 (若干)

内藤義幸、井上 久、田中なごみ、沢野文生、浦海葉枝、滝口 宣、栗山 明、岡田薫子、古郡孔文、澁谷武男、森本恵美、小沢俊通、丸山 征、井上一彦、山口繁美、山田誠一、亀ヶ谷忠宏、難波有三、長瀬 潔、武藤保之、渡井和佳、角和一太郎

### 運営委員 (各協会地区代表、連盟と各協会との窓口)

横 浜	長瀬 潔(代表)、角和一太郎、鶴見 紘、丸山 征、石渡 博
川 崎	伊藤夏夫(代表)、三輪哲也
横 須 賀	長澤典子
藤 沢	沢野文生
鎌 倉	山田誠一
茅 ヶ 崎	滝口 宣
小 田 原	岡田薫子
湘 央	小澤清一
相 模	古郡孔文
相 模	古木幸一
逗 子	森本恵美
厚 木	中野正規

### 相談役

渡邊眞一、永保固紀、永井 宏、橋木勝彦、三橋 勤

# 教育振興連盟発足会開催される

関係者待望の神奈川県私立幼稚園政治連盟改め、神奈川県私立幼稚園教育振興連盟の発足会が、去る五月八日午後六時から横浜エクスセルホテル東急ランドホールにて開催された。

現県議会議長はじめ二十五名の新旧県議会議員の方々が来会された。当日は予想を上回る私立幼稚園関係者百三十六名を含め、百六十一名のご参加を持って盛大に発足会が開催され、今後の活動に弾みがついた。開会に先立ち、振興連盟の目的や趣旨を映像にまとめたプレゼンテーションが行なわれ、その意義を伝えた。続いて吉原久雄教育振興連盟第三代会長よりこれまでの連盟の経緯について、又、今後の活動目標や展開について説明を含めた挨拶があった。

## 渡邊県連会長 教育振興連盟の活動に 期待感

神奈川県私立幼稚園連合会渡邊眞一会長より発足会開催を歓迎し期待する旨の挨拶があった。

この中で、組織は三代目が正念場である点と加入率八十パーセント以上を目指すことを強調し、その方針を明確にした。その後、ご出席の新旧県議会議員が登壇し、全員が極めて密度の濃いシンプルなご挨拶をいただいた。

## 松沢県知事メッセージ

公務多忙のため来会できなかった松沢成文県知事からは、「本

日は神奈川県私立幼稚園教育振興連盟発足会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。関係各位の誠実なるご実践により、今日のご隆盛をみましたことに深甚なる敬意を表します。神奈川県私立幼稚園教育振興連盟の発足にあたりまして、吉原会長様を中心とした貴連盟が今後ますますご発展されますことと、お集まりの皆様方のご健勝を心よりお祈りいたします。」(原文のまま)の祝電が届き司会者より披露された。歓談場面ではクラリネット、フアゴット、オーボエによる演奏が会場に格調ある雰囲気醸し出し、発足会に花が添えられた。

## 緊急アピール発表

会の締めくくりに教育振興連盟執行委員の山口繁美氏より緊急アピール：《神奈川の幼児教育を救うために》の発表として、「重要な役割を担う私立幼稚園がより充実した幼児教育を実践するためには、よりよい社会環境を整える必要があることを強調し、全国最下位である経常費補助を引き上げなければ、今後、神奈川の幼児教育が立ち行かなくなることを強く認識されたい」

と力強く宣言した。この宣言を受けて会を閉じ、参加者全員が今後会の趣旨や目的に沿って行動していくことを確認した。尚、当日のご来会者と幼稚園関係者協会または地域別出席者数は左のとおりです。

## 祝電に感謝

次の皆様からもご祝電をいただきました。  
県議会議員 山田 吉三郎様  
武田 郁三郎様  
榎本 与助様

## ご来会者

- |          |          |         |
|----------|----------|---------|
| 横山 幸一様   | 松田 よしあき様 |         |
| うめざわ 裕之様 | ほさか 努様   |         |
| 新堀 典彦様   | 牧島 功様    | 徳安 久是様  |
| えなみ 正剛様  | 竹内 英明様   | 小川 久仁子様 |
| 加藤 たかひさ様 | 中村 省司様   | 土井 隆典様  |
| 新井 敏二郎様  | 矢部 ふさお様  | ほりえ 則之様 |
| 嶋村 ただし様  | たてもり 勝弘様 | 鈴木 ゆうじ様 |
| 小島 けんいち様 | 杉山 信雄様   | 山本 俊昭様  |
| しきだ 博昭様  | 滝田 孝徳様   | 笠間 茂治様  |

## 地域別出席者数136名 (加盟園数579園)

横 川	浜 崎	74名 (264)	茅 ヶ 崎	5名 ( 18)
川 須	賀 倉	25名 ( 81)	湘 田 原	0名 ( 39)
横 須	賀 倉	7名 ( 27)	小 田 原	1名 ( 12)
鎌 倉	沢 葉	8名 ( 22)	相 模 原	9名 ( 27)
藤 沢		0名 ( 31)	相 模 原	3名 ( 31)
逗 葉		1名 ( 7)	厚 木	3名 ( 20)

県連合会オペレーションユニット

今年度の展開

研究部

部長 亀ヶ谷 忠宏

効率的な学びを

〜俯瞰図に基づいて〜



目の前にいる子ども達に最善の教育が出来るように保育者自身が学び続けることがいつの時代でも教育に携わる者に求められていることです。その学びの一つは、「子どもと

は何か」という、いつの時代も変わらない本質を追求し深めていくことがあります。もう一つの学びは、この変化の大きな時代には、子どもの育つ環境や親の子育てのありようなどの変化

に応じて学びを広くしていくことも必要になってきます。たとえば、今は幼稚園に家庭の教育を担う役割まで求められ保育者はその専門性を高める必要が求められています。

さらに、いま教員の資質が問われ、教員免許の更新制が提案されています。教師たるべき者は研修を受けるのは当たり前という認識、常識が出来つつあります。研修が受けても受けなくても良いものではなくなっています。

しかし、幼稚園の業務も多忙になり、教材研究や研修に割ける時間も少なくなっているのも事実です。だからこそ、学びの全体像を俯瞰しながら、効率的に研修を行っていく必要性が高まっています。

そこで、今年から県連はじめ県下の各協会でも、俯瞰図に基づいた俯瞰図を意識した研修を組み立てていくとしています。

平成十九年度も研究部では研究部員が力を合わせて県連加盟の園の保育の質の向上、つまり保育者の資質向上のために以下のような事業を行ってまいります。

研究部 日程

各地区教育研究大会

三浦半島地区	平成19年8月30日(木)
湘南地区	平成19年11月28日(水)
県央地区	平成19年12月12日(水)
横浜地区	平成20年1月26日(土)
川崎地区	平成20年1月30日(水)

統合保育講座(全5回)

上原文先生	第1回	平成19年6月22日(金)
"	第2回	平成19年7月13日(金)
"	第3回	平成19年9月7日(金)
"	第4回	平成19年10月19日(金)
関水実先生	第5回	平成19年11月16日(金)

関東地区教員研修茨城大会

平成19年8月21日(火)・22日(水)

新規採用教員研修会

平成19年5月9日(水)・6月7日(木)・27日(水)・8月2日(木)・3日(金)・10月24日(水)

教育課程研究協議会

平成19年7月23日(月)・24日(火)

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・10年経験者研修

平成19年8月27日(月)・28日(火)

研究室だより

室長 栗山 明



本年度の第一回研究部会が四月二十六日(木)に県民センター会議室で開かれ、事業及び役割分担が承認され、活動を開始したところです。部員は昨年度に引き続き、亀ヶ谷忠宏部長を中心に三十三名で年間十回の部会で相互の連携を深めながら取り組んでいます。

前日の四月二十五日(水)には、八月二十一日(火)・二十二日(水)の関東地区教員研修茨城大会事前打合せ会を三フォーラム(二、協同的な遊び。四、幼児教育と小学校教育の連続性を考える。十、表現を考える。)の県下六園の問題提起者の先生方が事前協議を行いました。是非、研修大会にご参加いただき、研修を盛り上げて下さい。

また、研究特別委員会三部会に対して、本年度に「五才児の教育」が新設され、四部会で八十名の委員が参加します。

幼稚園の先生の専門性と資質の向上が問われている今、研究部の事業に皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

5月9日新採研第1回開催



歓迎と励ましの言葉を会長より▲



230名の出席者で熱気にあふれる会場▲

新採研での会長の渡辺先生の挨拶の中から温かい励ましの言葉とともに、お給料をもらって社会人として参加する研修会では、①前列から座ることが当然のことである。また②男性保育者に対しては、研修会にふさわしい服装で参加すべきであるという、研修会にしっかりと意識を持って参加すべきであるという話しをしていただきました。

研究部事業

- 1 各地区研究大会の開催**  
 …大会テーマ「心の世紀、ともに育ち合う幼稚園教育をこのテーマに基づき5地区で行われる教職員の資質向上のための研究講座を支援します。  
 三浦半島地区 8月30日(木)  
 湘南地区 11月28日(水)  
 関東地区 12月12日(水)  
 横浜地区 1月26日(土)  
 川崎地区 1月30日(水)  
 ※大会テーマは、平成20年度より新しいテーマに変わります。
- 2 オープン講座**  
 …研究会の開催および研究事業の奨励  
 12協会 各1講座ずつ
- 3 研究特別委員会**  
 …幼稚園教育に関する今日的な課題を取り上げ、調査研究する。  
 各部会年間8回程度開催  
 A部会 「子ども理解」―子ども  
 の育ちを科学的視点から探る―  
 俯瞰図番号：A2-II、A2-III  
 幼児の健康管理  
 助言講師：谷田貝公昭先生  
 参加登録人数：18名  
 B部会 「保育を読み取る」  
 助言講師：若月芳浩先生  
 参加登録人数：23名  
 C部会 「幼小連携のあり方と幼児教育の科学性」  
 俯瞰図番号：F6-I、III  
 幼保小の連携  
 助言講師：新田司先生他  
 参加登録人数：21名  
 D部会 「5歳児研究」  
 俯瞰図番号：D1-I、III  
 発達理解  
 助言講師：佐藤康富先生  
 参加登録人数：16名

- 4 統合保育講座**  
 …障害児及び配慮が必要な子ども達の理解と対応について研究し、統合教育を深める。  
 俯瞰図番号：D3-I、III、D4  
 1回目 6月22日(金)、  
 2回目 7月13日(金)、  
 3回目 9月7日(金)、  
 4回目 10月19日(金)、  
 5回目 11月16日(金)  
 講師：1、4回 上原文先生、  
 5回目 関水実先生
- 5 家庭教育講座**  
 …子育てや家庭教育に役立つ研修会  
 6地区で開催  
**6 研究紀要の発行**
- 1 関東地区教員研修茨城大会**  
 …教員の資質向上のための研究講座  
 8月21(火)・22日(水)  
 茨城県つくば市  
 以下の3フォーラムを神奈川が担当する(問題提起、コーディネート)  
 ・フォーラム2  
 「協同的なあそびと学び」  
 提案：ささぬま幼稚園(川崎)、厚木幼稚園(厚木)  
 ・フォーラム4  
 「幼児教育を小学校教育の連続性を考える」  
 提案：ながつた幼稚園(横浜)、南大野幼稚園(相模原)  
 ・フォーラム10  
 「表現を考える」  
 提案：友愛幼稚園(小田原)、相武幼稚園(横須賀)
- 2 新規採用教員研修会**  
 …神奈川県が行う新任教諭の講習会の企画と実施

研究部担当の対外的事業

- 5月9日(水)「子どもたちの心に寄り添う保育」兵頭恵子先生  
 俯瞰図番号：B1-I、C3-I、D1-I、E7-I、E8-I  
 6月7日(木)「体験しようアドベンチャー教育 その1」白山明秀先生  
 6月27日(水)「児童虐待の現状について」鈴木康一先生  
 8月2日(木)午前 「保育者の役割」平山許江先生  
 8月2日(木)午後 「造形は子ども見つけ」平田智久先生  
 8月3日(金)午前 (仮)「映像を通して子どもを読み取る」高橋かほる先生  
 8月3日(金)午後 実技研修(造形、音あそび、絵本、環境教育、わらべうた)  
 10月24日(水) 「体験しようアドベンチャー教育 その2」白山明秀先生
- 3 教育課程研究協議会**  
 …教員の指導力を高め、幼稚園教育の振興・充実を図るために企画研究協議会  
 7月23日(月)・24日(火)  
 県民センター(横浜)  
 A「健康な生活のリズムを身に付け、生活に必要な活動を自分でできるようにするために、どのような環境の構成や教師のかわりが必要か。」  
 提案：こゆるぎ幼稚園 吉田ゆかり  
 B「友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合い、一緒に物事をやり遂げようとする気持ちをもつようになるために、どのような環境の構成や教師のかわりが必要か」  
 提案：東海大学付属本田記念幼稚園 田中君枝

平成19年度研究部員

- 研究部担当副会長**  
 吉原 久雄(池辺白ゆり)
- 部長**  
 亀ヶ谷忠宏(宮前)
- 室長**  
 栗山 明(二宮めぐみ)
- 次長**  
 難波 有三(はやし)
- 各地区協会研究部長**  
 [横浜] 小笠原 裕(平戸)  
 [川崎] 山田まり子(若竹)  
 [横須賀] 長澤 英子(南横須賀)  
 [藤沢] 田淵 恵美(もみじ)  
 [鎌倉] 高 方子(鎌倉みどり)  
 [茅ヶ崎] 飯塚 一美(湘南やまゆり第2)  
 [湘央] 佐伯 妙有(伊勢原ひかり)  
 [小田原] 平松 章子(新玉)  
 [相和] 椿 伊智郎(でんえん)  
 [相模原] 熊坂 昌志(相模つばさ)  
 [逗葉] 福井 真理(聖マリア)  
 [厚木] 大谷 佳子(厚木)
- 理事**  
 柏木 照正(都筑ヶ丘)  
 石渡 敬一(江川)  
 中村 邦彦(比企谷)  
 石井 稔江(かぐのみ)
- 委員**  
 三橋 悦夫(飯島)  
 志村 雄治(白山)  
 仁藤 一成(川崎こまどり)  
 今井 恵子(鴨居)  
 神崎富久子(ごしよみ)  
 福田 光葉(西鎌倉)  
 青木 正子(平塚めぐみ)  
 石川 征子(こゆるぎ)  
 田中 伸宜(綾南)  
 磯川 健(倉見)  
 深沢 肇(さがみひかり)  
 永保 貴章(田名)  
 野津 直樹(ぬるみず)

- 4 いじめ問題講習会**  
 …あらゆる視点からいじめの問題について研究を深める。  
 11月15日(木)
- 5 教育実践推進園**  
 公開保育 2園：  
 ○「子どもとの関わりの中にエゴロジ的な取り組みを」もったいないの目線から―  
 横須賀・鴨居幼稚園  
 公開保育日：平成20年1月24日(木)  
 俯瞰図番号：E4  
 ○「幼小の(各校種間の)連携に関すること」  
 相模原・相模つばさ幼稚園  
 公開保育日：平成20年2月5日
- 6 全日本私立幼稚園連合会・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構**  
 …私立幼稚園教諭全体の資質向上の必要性が指摘される中、地域の研修組織の中でスタッフとして活躍が期待される中堅・主任教諭のスキルアップを目的とする。  
 ・10年経験者研修  
 8月27日(日) 28日(火) 市ヶ谷日(火)  
 俯瞰図番号：F6  
 ※貴重な2園の公開保育が予定されています。お知らせが後ほど出ますので是非、振るってご参加下さい。

総務部

部長 丸山 征



三月の総会で承認されました平成十九年度の事業計画が、渡邊会長の方針に沿って、円滑に実施されますように努めて行きたいと思っています。各部とも連携して、渡邊会長の思いが総て実現出来ますように、全力でがんばっていきたいと思っています。皆さまのご協力をよろしく願っています。

平成十九年度総務部事業

- ① 幼稚園教育経営研修会
- ② 会報・神私幼ニュースの発行
- ③ 関係機関等への役員の派遣
- ④ 関係機関との役員の連絡調整
- ⑤ 諸会議の開催
- ⑥ 総務部会の開催

経営管理部

部長 長瀬 潔



景気拡大が続く日本

～人材確保をどうするか！～

二〇〇七～二〇一〇年までの四年間は大量に団塊の世代が退職します。それにあいまって日本経済は好景気に恵まれていますが、これは大企業のみですが、人手が不足になっていきます。求人倍率も上昇していることにも注目が必要です。当然これらには地域格差があります。さて、幼児教育界を見ると少子高齢化の波が押し寄せています。このような中で、私達幼稚園界はどのような舵取りをする

ことが良いのでしょうか。保護者も最近では高学歴の人が多い地域もあり、短大卒の担当が対等に話しをして、園の保育指針を明確に伝えるためには、養成期間がどうしても必要です。ではどうすれば良いか：経営管理部では下記による各種研修会を開催いたします。今、企業では人手不足となっています。どのような手段で人材を確保するのか等については、講師の先生よりお話しを伺い、いち早くに情

振興部

部長 山口 繁美



振興部の最大の活動は県当局への翌年度予算の要望である。

五月は要望内容の構想と準備、六月には内容をまとめ、七月早々に要望書を作り上げる。出来上がった要望書を用いて、その活動に入るが、まず、七月末から

八月初旬の盛夏の最中に例年、自由民主党、民主党、県政会の各党派議員団にヒヤリングの場をいただき要望する。各県議員の方々には当連合会の私立幼稚園

振興活動に側面から支援の手を差し伸べてくれている。九月に入ると活動のメイン、県当局への要望となる。県民部長以下、学事振興課長、県担当者に要望内容を説明し翌年度予算への反映をお願いする。

近年の県幼稚園関係予算の内、特に経常費は園児一人単価で見ると全国的に見て大変低い状況にあることは周知のことである。振興部はこの問題を県議団の方々の支援を受け、打開策を見つけることが最大の課題でもある。

**経営管理部 日程**

後継者育成研修会  
平成19年 6月22日(金)  
県民センター

平成19年11月14日(水)  
横浜エクセルホテル東急

人材確保研修会  
平成19年 9月 5日(水)  
横浜エクセルホテル東急

報をキャッチし、次の手を打つことが出来ると思います。企業は人なりと申します。設備、施設が仕事をやる訳ではありません。施設設備等の環境を上手に使うことの出来る人材が求められます。幼稚園でも園舎が新しく、きれいだからという理由だけで園児が集まるといいうのは、一昔前の発想です。現代では園長を中心とした職員構成がいかにすぐれているかが大切だと思います。それには後継者を育てることが重要です。研修会に参加して勉強して頂くことが大切だと思えます。これにより教師の専門性の向上やモチベーションが高まることで、毎年の園児募集も苦勞することなく、募集人員を集め、結果として地域の幼児教育センターとしての役割を果たすことが出来るはずですよ。

財務部

部長 武藤保之



平成二〇年度より実施される公益法人会計処理に当り総務省及び神奈川県教育委員会等で検討されつつありますが、現在のところ具体的な内容についてのインフォメーションがございません。

現在の社会の変化の流れの速さをいっしょに我々も遅れをとることのない様に、諸情報を入力次第、正確に理解し速やかに移行できるように全力を上げて準備する用意をしております。

最大の問題は公益法人のディスクロージャー、受託責任の明確化と財務諸表の簡素化、キャッシュフロー計算書の義務化と正味財産増減表の作成等となっております。従いまして広く国民に対し理解しやすい財務情報を提供するということが、公益法人は私達の寄付や会費等で運営し不特定多数の方々への利益のために活動することです。この目的のために、連合会が取

るべき制度を真剣に考えなければならぬ問題と見做します。来年度にはどちらかに選択をしなければなりません。現在県連合会は公益法人に移行するということに前提で会計基準の整備をいたしております。本年度は事業会計の予算及び精算等の処理の簡素化の為に必要な各部統一の内規の作成と連合会の経理規定を作成する準備を始めます。

本年度も県連合会の公益法人会計基準の改定にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の取り組み

- ① 連合会経理規定の作成
  - ② 公益法人会計の適正化
  - ③ 事業予算・決算の簡素化
- 出来るだけ速やかに問題点を整理し、今後の県連合会運営に努力していきたい。

私の考える

県連合会

のあるべき

姿



一〇二条園プロジェクトに期待

副会長 伊藤夏夫

渡邊会長が就任してから丸一年が過ぎました。様々な諸問題が溢れる中での活動でしたが、後半戦の始まりです。県連合会

は五地区十二協会で成り立っています。宗教法人立、個人立、幼稚園の集合体でもあります。個

人立、宗教法人立の県連合会代表として全日本私立幼稚園連合会の一〇二条園対策委員会に出席していますが、中央でも手詰まり状態で、ほとんどが認定子ども園の情報収集と研究に費やされています。東京都のように独自補助制度を設けた地域の一〇二条園は、認定子ども園志向が強く感じられます。経常費補助も東京都のように学校法人立の三分の一から四分の一に減額されたとはいえ、神奈川に比べれば高い水準を維持しています。

全日私幼連の一〇二条園アンケート調査によると、学校法人化しない理由を尋ねたところ、相続や権利関係で、なりたくてもなれないという理由よりも、教育理念の継承・将来への不安が多く占めていました。学校法人立の幼稚園でさえ将来の不安を取り除けないのですから、当然といえる結果だと思います。

県連合会では、経営管理部所轄に一〇二条園対策委員会があります。渡邊会長の方針で部の一委員会ではなく、特別プロジェクト委員会として平成十九年度より新たに発足することになりました。県内から幅広く人材を集め、一〇二条園の諸問題に取り組みます。個人的意見ですが、自園にも障害のある園児が登園していま

お知らせ

● 会員の叙勲は県連の誇り

今年度の春の叙勲で当連合会前理事の尾崎春人先生（神奈川県：銀嶺幼稚園長）が瑞宝双光章を受賞されました。この受賞は40年間幼児教育の第一線で活躍されたことが認められたものです。県連としても名譽なことであり心よりお祝い申し上げます。尚、4月29日発行の読売新聞朝刊に写真入のインタビュー記事が大きく掲載されましたので合わせてお知らせいたします。

県連合会日程

	總會	父母の会連合会	その他
4月			
5月	28(月)		
6月		19(火) 委員総会	22(金) 第1回後継者育成研修会
7月		3(火) 常任委員会	
8月			
9月			5(水) 人材確保研修会
10月		9(火) 常任委員会	
11月		27(火) 研修大会	14(水) 第2回後継者育成研修会
12月		14(金) 常任委員会	
1月			27(日)・28(月) 教育経営研修会
2月		21(木) 常任委員会	
3月	6(木)		

解説

また、春の褒章では当連合会現理事の渡井和佳先生（南区：マヤ幼稚園長）が藍綬褒章を受賞されました。こちらもお祝い申し上げます。この受賞は保護司としての活動が認められたものです。

候補者は、栄典に関する有識者の意見を聴取して内閣総理大臣が決定した「春秋叙勲候補者推薦要項」に基づき、各省各庁の長から推薦されます。内閣府賞勲局は推薦された候補者について審査を行い、原案を取りまとめます。その後、内閣官房長官が主催する叙勲等審査会議を経て、閣議に諮り、受章者が決定されます。

「瑞宝双光章」

公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方を対象とした章

「藍綬褒章」

公衆の利益を興した方又は公同事務に尽力した方を対象とする褒章

編集後記

「カリスマシエフのパン！夢の味！」とある大人のグルメ番組で紹介され、興味津々で見ていると、4月オープン横浜アンパンミュージアム・ジャムおじさんのパン屋さんのことでした。子どもの世界に大人も興味を持ち、親子で楽しもう！と和やかな放送でした。

大人の都合が優先され、子どもらしい生活が危機的状況であるという今、幼稚園でも親子で体験し、笑顔が生まれる空間作りをすることの大切さを感じます。

広報室員 福田光葉（西鎌倉幼稚園）

● 父母の会連合会からのお知らせ

毎年、開催しております「父母の会連合会研修大会」の日程が変更となりました。

日時：十一月二十七日（火）  
会場：パシフィコ横浜  
メインホール

講師：服部栄養専門学校校長  
服部幸應先生

● 新任のご挨拶



新事務局長 高畑充治

初めまして、この四月から県連合会の事務局長を拝命しました「たかはしじゅんじ」と申します。神奈川県一筋で、中小企業育成、社会福祉施設の助成、職業訓練・能力開発の指導、生涯学習の推進等手掛けてきました。

この度、子ども未来を培う幼児教育・実践教育現場の新しい息吹に触れる仕事に、気を引き締め、精一杯頑張りますので、皆様のご指示、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

平成20年は県連設立 60周年イヤー

本連合会は昭和23年（1948）に結成され、来年度（平成20年度）設立60周年を迎えます。

23園をもって組織的活動を始めた県連も、本年579園の組織率に発展し、さらにその勢いが強めながら、神奈川県民の期待を担っております。この60年の歳月は、先達の方々の幼児教育への熱い思いと努力と知恵の結晶でもあります。そこで、本連合会はこの観点から、平成20年度を県連設立60周年イヤーと位置づけ、「温故知新」の精神をもって記念事業を進めてまいります。

私学の誇りはその「志」にあります。今後の県連の存在がそれにふさわしい品性や品格を持った組織にさらに発展していけるか否かは、私たちの姿勢次第といえます。60年を人に譬えるならば還暦に当たります。この年齢は、落ち着きと共に深みや波さが出てくる年齢です。先人の思いや願いを年月が育み、かたちにしてきたものを更に発展させながら、新しい組織価値を持った県連に高めてまいりたいと考えております。

まもなく県連設立60周年記念準備委員会が組織され、始動を開始いたします。詳細はこれからですが、会員各位のご協力をお願いする次第です。今後、広報誌等で逐次お知らせいたします。 広報室長 井上一彦（太陽第二幼稚園）

平成19年度神奈川県連加盟園数

協会名	園数	園児数	協会名	園数	園児数
横浜	264	集計中	湘中央	39	6,905
川崎	81	22,281	小田原	12	1,472
横須賀	27	5,454	相和	27	5,307
藤沢	31	5,965	相模原	31	7,335
鎌倉	22	3,320	逗葉	7	957
茅ヶ崎	18	3,549	厚木	20	3,457
			計	579	

(昨年度園児数 122,779)

県連設立 1948年(昭和23年)

19年3月31日 廃園 横浜協会 深園幼稚園  
" " 干鳥幼稚園  
19年4月 入会 横浜協会 南幼稚園

発行

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会  
〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14  
県青少年課神之木台分館内  
TEL. 045-430-3102 FAX. 045-430-3103

印刷

(有)石黒印刷  
〒232-0056 横浜南区通町3-50-1  
シティコープ弘明寺101号  
TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036